

衆議院外務委員会ニュース

平成 30. 4. 13 第 196 回国会第 8 号

4 月 13 日（金）、第 8 回の委員会が開かれました。

- 1 所得に対する租税に関する二重課税の除去並びに脱税及び租税回避の防止のための日本国とリトアニア共和国との間の条約の締結について承認を求めるの件（条約第 5 号）
所得に対する租税に関する二重課税の除去並びに脱税及び租税回避の防止のための日本国とエストニア共和国との間の条約の締結について承認を求めるの件（条約第 6 号）
所得に対する租税に関する二重課税の除去並びに脱税及び租税回避の防止のための日本国政府とロシア連邦政府との間の条約の締結について承認を求めるの件（条約第 7 号）
投資の自由化、促進及び保護に関する日本国とアルメニア共和国との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第 10 号）
- ・河野外務大臣、山本防衛副大臣、堀井外務大臣政務官、福田防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
 - ・各件に対し、宮本徹君（共産）が討論を行いました。
 - ・各件についてそれぞれ採決を行った結果、いずれも賛成多数をもって承認すべきものと決しました。
（賛成一自民、立憲、希望、公明、無会、維新 反対一共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

鈴木貴子君（自民）

- ・2020年までに100の国・地域との間で投資協定を締結するとの目標設定の目的と、達成の見通しについて伺いたい。
- ・リトアニア及びロシアとの租税条約においてOECD承認アプローチ(AOA)が導入されていないのはなぜか。
- ・北方四島周辺水域操業枠組協定に基づかないロシア当局による日本漁船への「訪船」をやめるよう、河野外務大臣からロシア側に申し入れるべきではないか。

山川百合子君（立憲）

- ・租税条約を締結するメリット及び我が国の今後の租税条約締結方針について、ご説明いただきたい。
- ・アルメニアとの投資協定締結の意義について、本年2月に現地を訪問した堀井外務大臣政務官はどのように考えているのか。
- ・「行政情報は国民の財産、公文書は歴史の証人」との観点から、一定の期限を過ぎた公文書は原則として公開すべきではないか。

小熊慎司君（希望）

- ・租税条約交渉に時間をかけたことにより具体的にどのように租税条約の質が高まり、我が国の国益に資する結果となったのか、ご説明いただきたい。
- ・中国の進出が著しいロシア極東地域での日ロ間の経済交

流について、政府はどのように対応していくのか。

- ・シリア・東グータ地区での化学兵器使用疑惑に関する調査チームを設置するための決議案が、ロシアの拒否権行使により否決されたことについて、河野外務大臣はどのように考えているのか。

関健一郎君（希望）

- ・バルト三国への企業進出における租税条約の意義について、ご説明いただきたい。
- ・政府は、バルト三国との人的交流の強化にどのように取り組んでいるのか。
- ・トランプ米大統領がTPPへの復帰の検討を指示したことについて、河野外務大臣の見解を伺いたい。

岡田克也君（無会）

- ・河野外務大臣は、今後の北朝鮮との交渉において、2005年9月の六者会合共同声明がベースになると考えているのか。
- ・朝鮮半島有事における国連軍の日本国内の基地からの出動は、日米間における事前協議の対象となるのか。
- ・河野外務大臣は、米国が今まで国際法に反する先制攻撃を行ったことはないと考えているのか。

宮本徹君（共産）

- ・羽村第三中学校における米軍パラシュート落下事故（2018. 4. 10）について、事故原因は究明されたのか。
- ・同事故の原因が究明されていない現段階では、安全が確保されているとは言えないのではないか。
- ・陸上自衛隊研究本部が大量の日報を保有していたのはなぜか。

丸山穂高君（維新）

- ・経済界から租税条約の新規締結や改定の要望がある国に

ついて、今後政府はどのように対応していくのか。

- ・日米租税条約改正議定書が未発効であることによる不利益、米国が未だ批准していない理由及び政府としての今後の方針について、ご説明頂きたい。
- ・経済界から投資協定の新規締結や改定の要望がある国について、今後政府はどのように対応していくのか。

2 税源浸食及び利益移転を防止するための租税条約関連措置を実施するための多数国間条約の締結について承認を求めるの件（条約第4号）

所得に対する租税に関する二重課税の除去並びに脱税及び租税回避の防止のための日本国とデンマーク王国との間の条約の締結について承認を求めるの件（条約第8号）

所得に対する租税に関する二重課税の除去並びに脱税及び租税回避の防止のための日本国とアイスランドとの間の条約の締結について承認を求めるの件（条約第9号）

- ・河野外務大臣から提案理由の説明を聴取しました。